

シラバス詳細

タイトル「2026年度シラバス」、カテゴリ「経済経営学類」

科目情報	
12 / 12件	
科目名	中級日本語2-1(読解)
講義名	中級日本語2-1(読解)
クラス	
担当教員	永島 恭子(非)
実務経験のある教員による講義	
学年	1年、2年、3年、4年
キャンパス区分	金谷川キャンパス
開講学期	後期
開講時期	(後期)
曜日・時限	月 2
講義室	講義室未設定
科目種別	通常講義(学類)
科目区分	要卒外(ｽﾏﾙ用)
単位区分	要卒外
単位数	1
準備事項	
備考	
特修プログラム	
直接参照URL	https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/cu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047540165693&formatCD=1

授業方法
講義、グループワーク、ICT機器の活用

講義情報
授業概要とねらい 様々なタイプの資料を読み、日本語で読む力と考える力を高める。読解力の向上に加え、複数の観点から自分の考えを整理し、それを相手に伝えられるようになる。 Students will develop reading skills and thinking skills by reading various kinds of materials. Students also expand their points of view and explain their ideas logically to the others.
単位認定基準 ・書き手の独自の考えや見解が示されている、現代の問題に関する記事や散文が読める。 ・自分の関心がある分野に関する広範な領域のテーマを読んだ上で明確且つ詳細に説明できる。 ・読んだものに対して情報を伝えたり、賛成、反対の理由を述べることができる。 ・ can read articles and reports concerned with contemporary problems in which the writers adopt particular attitudes or viewpoints. ・ can tell clear, detailed explanation on a wide range of subjects related to their interests. ・ can tell, passing on information or giving reasons in support of or against a particular point of view.
授業計画 1) オリエンテーション、 2) テキスト「対比」 3) テキスト「言い換え」 4) テキスト「比喩」 5) テキスト「疑問提示文」 6) テキスト「主張表現」 7) テキスト「指示語を問う」 8) テキスト「だれが、何を、などを問う」 9) 中間まとめ 1 0) テキスト「下線部の意味を問う」 1 1) テキスト「理由を問う」 1 2) テキスト「例を問う」 1 3) 復習（短文読解） 1 4) 復習（中文、長文読解） 1 5) 全体のまとめ * 以上は予定であり変わる可能性がある。

- 1) Orientation
 - 2) textbook, Unit1, Chapter1-1
 - 3) textbook, Unit1, Chapter1-2
 - 4) textbook, Unit1, Chapter1-3
 - 5) textbook, Unit1, Chapter1-4
 - 6) textbook, Unit1, Chapter1-5
 - 7) textbook, Unit1, Chapter2-1
 - 8) textbook, Unit1, Chapter2-2
 - 9) midterm exam
 - 10) textbook, Unit1, Chapter2-3
 - 11) textbook, Unit1, Chapter2-4
 - 12) textbook, Unit1, Chapter2-5
 - 13) Review-1
 - 14) Review-2
 - 15) Final exam
- * these schedules are still tentative

授業計画（週形式）

教材・教科書

『新完全マスター読解 日本語能力試験N2』（スリーエーネットワーク）

"Shin Kanzen Masuta Dokkai: Nihongo Noryoku Shiken N2
(New Complete Master Series - The Japanese Language Proficiency Test: N2 Reading Comprehension)" 3A Network

参考図書

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

- ・宿題による予習と授業で扱ったページの復習をしてくること。
- ・単位制に基づき、少なくとも15時間の授業外学修時間を必要とする。

Students need to spend at least 15 hours on homework and reviewing the pages covered in class.

成績評価の方法

小テスト・提出課題（30%）、中間試験（20%）、期末試験（50%）で評価する。出席率70%以上でないとき期末試験は受けられない。

quizzes and weekly assignments (30%), Midterm exam (20%), Final exam (50%)
Students cannot take the final test in case the attendance rate is lower than 70%.

成績評価の基準

- S : 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた（90～100点）
A : 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた（80～89点）
B : 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた（70～79点）
C : 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた（60～69点）
F : 単位認定基準の学修成果をあげられなかった（～59点）

- S : Very excellent in every points.
A : Very good in every points.
B : Good in every points.
C : Not good in some points.
F : Not good in most of points

オフィスアワー

授業開始時に連絡する。

It will be announced at the beginning of the course.

授業改善・工夫

Google Classroomを用いるなどして、学生に自律学習を促すとともに、授業を効率的に進める。

The class is managed effectively by using Google Classroom. Google Classroom is also expected to lead students to autonomous learning.

留意点・注意事項

J-CATでの基準点の到達を受講の目安とする。

Students needs to pass the criterion score on the J-CAT test.

教員の実務経験の有無